新たな可能性への挑戦

先輩VOICE　進学のキッカケ

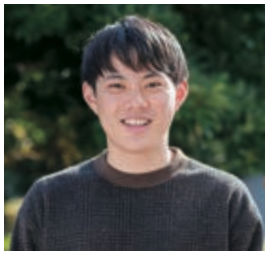
Information Science

ユビキタスコンピューティングシステム研究室
博士前期課程
吉川 莉央さん

研究意欲を刺激される日々。

学部在籍時から研究に没頭できる環境を求めていました。あるイベントで奈良先端大の在学生と話ができ、充実した研究設備やモチベーションの高い学生と切磋琢磨できることを知り、進学を決断しました。私のように研究の関心が変わり、研究室を移ることも可能です。親も「好きなことをするべき」と背中を押してくれています。

Biological Science



ストレス微生物科学研究室
博士前期課程
中上 和毅さん

研究設備も、指導体制も。

現在の研究テーマを専門的に学べる環境が大学になく、それが可能な設備が整っている奈良先端大に魅力を感じて進学しました。研究が計画通りに進まない時もありますが、教官や先輩にしっかりとサポートしてもらえ、指導体制にも恵まれています。親からも研究生活に支障がないよう食事面を中心に支えてもらい、感謝しています。

Materials Science

機能有機化学研究室
博士前期課程
大井田 意純さん

新しい研究を始められる場所。

大学院では応用研究をしたいと考えていました。大学院を調べる際、名だたる研究者が奈良先端大で教授をされていることを知り、この環境で学びたいと思いました。また、ここには学部がなく内部進学者がいないため、スタートラインが皆同じ。新しい研究を始めることも可能です。親も「安心できる研究環境だ」と言ってくれます。将来は材料の分野から社会を支える人材になりたいです。

宿舎環境

本学では、709戸の学生宿舎を用意しています。
学生宿舎へ入居することが、十分な研究時間の確保と経済的な負担の軽減の一助となっています。
24時間体制で研究活動をサポートするため、宿舎にいながらでも、附属図書館や国内外の学術研究機関のネットサービスを利用できるネット環境を提供しています。
国際的な視野を持つ人材を育成することを目的として、2021年4月から日本人学生・外国人留学生のシェアタイプ型学生宿舎を新設しました。
また、学生宿舎以外にも、下宿探しの一助として、大学周辺の（独）都市再生機構（旧日本住宅公団）の賃貸住宅を大学が借り上げ、希望者に提供しています。家賃は3万5千円～5万円程度となっています。

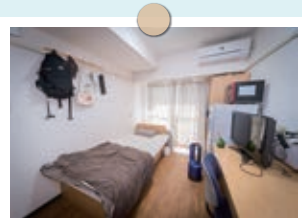
学生宿舎入居者の月々の生活費(例)

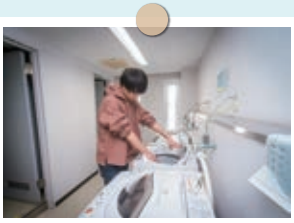
収入	奨学金	50,000円
	仕送り	50,000円
支出	住居費	10,000円 （うち共益費 4,100 円）
	光熱費	1,000円
	水道代	1,000円
	ガス代	0円
	食　費	25,000円
	生活用品その他	5,000円
	交際費	5,000円
	趣味・娯楽	5,000円

学生宿舎

宿舎まで徒歩5分なので便利です

機能有機化学研究室
博士前期課程
大井田 意純さん

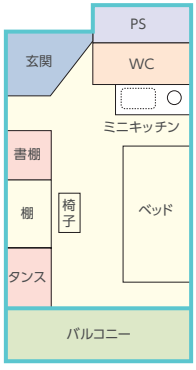




単身用居室

入居者の選考方法

入居者の選考は、入学試験の成績をもとに決定します。



単身用居室

2020 年度入学者に係る入居率

博士前期課程	博士後期課程
46%	100%

※2020年12月1日現在（年度途中入居者含む）　※留学生を除く

	単　身　用
居室数	559室
居室面積	13㎡
設備等	机、ベッド、ミニキッチン、トイレ等
共有設備	浴室、ランドリー室、ラウンジ
寄宿料（共益費込み）	月額 10,000円
光熱水料	入居者負担
インターネット回線	無料

※単身用の他に夫婦用、家族用、シェアタイプの部屋もあります。

私のキャンパスライフ
宿舎編

機能有機化学研究室
博士前期課程

大井田 意純さん

学生宿舎のメリットは登校に時間がかからないこと。その分、自分の時間に使えます。また、住居費はもちろん、電気代や水道代も安く、アルバイトするよりも、研究優先の生活なので助かっています。研究室の仲間とランニングをしたり、学内コートでテニスをしたりするのもいい息抜きです。休日は映画鑑賞やラーメン屋巡り。普段から研究とプライベートにメリハリをつけることを大切にしていて、平日も実験が終わって帰宅後は趣味などの時間に充てられるように心がけています。

1Day スケジュール

08:00 起床
朝食と洗濯。

09:00 実験開始
午前中は実験の仕込みです。

12:30 昼食
学内のコンビニや食堂で済ませます。

13:30 実験の続き
午前中に仕込んだ実験の精製をします。

19:00 夕食
夕食後はその日の実験の解析を行います。

21:00 帰宅
入浴後は趣味(映画や音楽鑑賞)の時間です。

24:00 就寝

My Campus Life

効率よく時間を使えるのが宿舎の魅力です。